

# あわゆず ふれず

伝えよう日本語を  
広げよう徳島から



J T M と く し ま  
日 本 語 ネットワーク

第21号 2010年5月7日発行

## わたしたちはひとつの大きな家族

～人と人のつながりを実感できる社会に～



たくさんの笑顔があふれるこの写真は、**みんな縁あって同じ地域に暮らす人どうし、ひとつの大きな家族なんだよ**と語りかけてくるようです。

J T M とくしまの活動がスタートして、まもなく満13年を迎えます。この間、日本語サロンや中級日本語教室、異文化理解講座、交流会、意識調査、意見交換会など、日本語支援や相互理解のためのさまざまな活動に取り組んできました。特にこの1年は、念願であった外国にルーツを持つ子どもたちの「にほんご寺子屋」と、「就職のための日本語講座」「介護の日本語講座」のふたつの就労支援講座が実現した節目の年となりました。

ときを同じくして、今年1月にNHKスペシャルで「無縁社会～“無縁死”3万2千人の衝撃～」が放送され、無縁死を他人事とは考えられないと感じた30代を中心とした数多くの若者から反響があったことは、これまで機能していた「血縁」「地縁」「社縁」といった共助が薄れていく日本の行く末を示唆するものでした。

日本語や技術を習得して働きたいと願う人たち、外国にルーツを持つ子どもたちの保護者や子どもたちが在籍する学校、国際結婚により来日した人やその家族、外国人研修生受け入れ企業や経済連携協定でインドネシアやフィリピンの介護福祉士候補生を受け入れている介護施設などからのJ T M への問合せの電話や来訪は、年を追うごとに増え多様化しています。一つひとつ、一人ひとりの問合せや相談を、解決に向けてどのようにいっしょに考え、向き合い、つなぎ、働きかけていけばいいか、模索する日々が続きます。

その過程で、日本語支援が解決に向けての核になっていることを痛感します。そして、もうひとつの核となるのが、自分は日本に、地域に居場所があり受け入れられているという実感を持てるような地域づくりへの取り組みではないでしょうか。「お国自慢とポットラックパーティー」は、まさにその取り組みのひとつでした。

縁あって同じ地域に暮らす外国の人たちの思いに耳を傾け、時代や地域が求めることにも目を向け、これからもふたつの核となる取り組みを続けて、「無縁社会とは無縁の社会」を築きあっていきたいと思えます。

(J T M とくしま日本語ネットワーク 兼松 文子)

## 2009年度 第2回定例会

# 「お国自慢とポットラックパーティー」



とき 平成22年3月14日(日)

13:00~16:00

ところ ヒューマンわーくびあ徳島 5階大ホール

- 内容
- ・持参のお国の料理を説明
  - ・みんなで料理をいただく(各自、自己紹介をしながら)
  - ・JTMの活動について(各リーダー、説明)
  - ・お国自慢、私の自慢披露
  - ・抹茶とお菓子をいただく
  - ・家族、友人の紹介
  - ・阿波踊りをみんなで踊る。

## 楽しかった! おいしかった! 友だちできた!



天候にも恵まれ、中国、フィリピン、メキシコ、インドネシア、アメリカなどいろいろな国の人たちと私たち会員、83名が集まり、賑やかで楽しい一日を過ごした。

留学生、研修生、日本語教室の人たちや「にほんご寺子屋」の子どもたち、またそのご家族とほんとうに大勢の外国の人たちが集まってくれた。

持ち寄ったお国自慢の料理はみなおいしく、楽しく語らいながらいただき、大好評だった。その後の、中国の歌、太極拳、日本舞踊、フィリピン・メキシコ・インドネシアのダンス、英語落語、マジック、バンド演奏、ラップ・ミュージックは皆もう玄人はだして見ごたえ聞きごたえがあった。また着物の着付けがあり、中国の男性の羽織袴姿はりりしく、フィリピンの女性の振袖姿は、たいへんきれいで、皆よく似合っていた。こうして食べ、歌い、踊り、親しく話を楽しみ、一つの大きな家族のようになれたことは、今後私たちがいろいろな活動をしていく原動力になるとうれしく思った。



うして食べ、歌い、踊り、親しく話を楽しみ、一つの大きな家族のようになれたことは、今後私たちがいろいろな活動をしていく原動力になるとうれしく思った。



親子着付け教室でゆかたの着付けを習って練習をした。

〈関口さん・ゆかた〉

〈国見さん・日本舞踊〉



週2回、30年間練習をしている。いろいろな国の人たちの前で踊りがいがあった。

〈李さん・太極拳〉



6歳から習っていた太極拳を仕事の傍ら徳島や高松で教えている。

〈ジェリコ君・ダンス〉



お祭りのときに踊るフィリピンのダンス。小さいときから踊っている。  
ダンスが好き。この日のために1週間に2回練習をしてきた。緊張してドキドキした。



徳島公園で初めて落語を聞いて興味を持った。テレビや本などで勉強をしたわけではなくまったくの自作。これからももっと作っていききたい。

〈デリスさん・落語〉

〈ヨハナさん・インドネシアのダンス〉



6歳から、踊り始めた。ダンスのできる親戚の人から1年間週3回の特別なレッスンを受けた。衣装をクリーニングに出していて、着られなかったのが残念だった。

先生について、小さい頃からダンスを習っていた。



〈ファナさん・メキシコのダンス〉

受験勉強で忙しく、あまり練習ができなかったが、普段からよく親子で演奏をしている。



〈ロバート君・バンド〉

## 会場インタビュー

- **王 良波さん (中国)**  
娘の出産に立ち会うため、中国の大連から来ています。舞台での歌や踊りは皆上手でとても良かったです。今日は春キャベツの炒め物とサラダを作ってきました。皆さんの料理はそれぞれに特徴があっておいしかったのですが、やはり自分が心をこめて作ったのが一番おいしいと思いました。
- **フロスト ダニエルさん (アメリカ)**  
今日はとても楽しかったです。料理は中国料理が一番おいしかったです。お茶ははじめて飲んだけどまああの味でした。
- **李 林さん (中国)**  
中国の丹東から来て3年になります。日本語はまだまだです。今、徳島と高松で太極拳を教えています。今日はいろいろな人と知り合いになれて、とても楽しかったです。またこのような会があれば参加したいです。
- **平松 メイさん (フィリピン)**  
日本に来て20年になります。日本語はだいたい大丈夫ですけど、たまに分からない言葉があります。料理は青椒肉絲がおいしかったです。舞台はバンド演奏が良かったです。
- **大道 洪武さん (中国)**  
中国出身ですが、日本に住んで10年以上になります。子どもも大学生と高校生になりました。歌やダンスなどいろいろな国の文化に出会えたが、特にアメリカのバンドが良かったです。中国にはこのような楽器を演奏する人は少ないです。皆さん日本語がうまいです。いろいろな料理がありましたが、やはり中国料理が口に合います。肉料理が多かったのですが、豆腐を使った中華料理がとてなつかしかったです。
- **河野 芳徳君**  
日本に来て2年くらいになります。今日は楽しかったし、面白かったです。特にアメリカのバンドが良かったです。料理もおいしかったし、全部良かったです。学校の勉強は社会や歴史、国語が難しいです。数学と理科が好きです。動物が好きだし、元素記号を覚えるのも好きです。



## 介護の日本語指導のための 実践講座

2009年度  
第1回特別研修会



10月31日、介護の日本語指導のための実践講座において、テキスト『専門日本語入門－介護篇－』の効果的な指導法について、研修会を開催しました。これは「就職のための日本語講座」にひきつづき、社団法人徳島県労働者福祉協議会が徳島県の委託を受けて開講する「介護の日本語講座」の前に、具体的な指導の方法を学ぶため、講師には経済連携協定によりインドネシア・フィリピンの介護福祉士候補生の日本語テキスト開発と日本語指導に携わった財団法人海外技術者研修協会の講師・中村倫子先生に来ていただきました。参加者はJTM会員の他、地域の国際交流協会の方々、

日本語教師、外国人介護福祉士候補生受入施設の方、22名です。

介護現場で使う日本語指導は私たち教師の誰もが経験のないことで、少なからず不安がありました。中村先生のていねいで細かい、デモを取り入れながらのわかりやすいご指導により、私たちも授業の進めかたを具体的にイメージすることができました。内容はテキストに沿って、介護施設の場面を具体的にイメージさせるための方法や、日常会話にはない語彙、利用者への声かけ、文法表現、ロールプレイ、報告書の書き方等でした。研修会後の懇親会でも、ざっくばらんに中村先生と話し合い、私たちの細かい質問等にも答えていただきました。

この研修会をもとに準備をすすめ、教師グループの勉強会でもそれぞれの知識や情報を共有し、この新しい挑戦に取り組んでいます。地域に住む介護職を目指したいという外国人は少なくありません。今後、海外技術者研修協会のような指導経験のある方と私たちのような地域のサポーター的立場である者と、介護施設のスタッフの方たちとの連携がより大切になってくるのではないかと思います。

(古山 陽子)

## 介護の日本語講座

県内初  
就職向け高難度講座

11月16日、徳島市昭和町のヒューマンワークびあ徳島において、「介護の日本語講座」が開講しました。JTMとくしまは、「就職のための日本語講座」に引き続き120時間の日本語指導を担当しました。

初級や中級の日本語講座と違い、介護の日本語講座では、専門用語の習得や高齢者にも聞き取りやすい発音の訓練、「申し送り」と「日報」という話し言葉と書き言葉での報告の仕方の習得、利用者や家族の気持ちに共感することなどが、高難度の知識と技術を身につけるため



の特訓が繰り返し行われます。教室には、車椅子や杖、ポータブルトイレ、入れ歯、寝巻きなどのレアリア（実物）がテーマに沿って用意されます。

講座は2010年3月11日まで続き、こうした実践的な訓練を経て、8名の受講生のうち、4名がホームヘルパー2級の資格を取得し、2名が介護施設に就職を果たしました。他の資格取得者も介護現場への就職をめざして就職活動を進めています。

「職場では、申し送りやパソコンでの報告書作成がたいへんだけれど、講座で勉強したことがとても役立っています」と就職したばかりの受講生が近況を伝えてくれました。

介護現場は、日本人であろうと外国人であろうと即戦力として通用する人材を求めています。**職業訓練の一環としての日本語教育**が、自分の能力を発揮して社会の一員として役に立つために働きたいと願う外国の人たちと、介護現場はじめさまざまな職場とをつなげる一翼を担えるよう、これからも私たちに与えられた役割に務めていきたいと、初年度の取り組みを終えて、その気持ちを強くしています。

（兼松 文子）



車椅子への移乗の介助の会話練習

## 『今すぐ役立つ コミュニケーション実践講座』

2009年度  
第2回特別研修会

12月12日、講師に徳島県国際交流協会の村澤普恵先生を迎え研修会が開催されました。

会が始まると先生は「今日の話はこれが全てです。」と言ってかわいいボールを取り出し、出席者に次々とパスをし始めました。にこやかな顔で名前を呼びながら、受けやすいボールを投げたかと思うと、突然目も合わさず変化球を投げてよこしたりしました。「さて皆さん、どんな気持ちがしましたか。これがコミュニケーションそのものです。」そして、身振り手振りを入れたのコミュニケーション概論が始まり、参加者はぐんぐんと引き込まれ、いつしかコミュニケーションの本質に迫っていくことができました。

続いてペアを組んで演習に入りました。相手の話を聞かない、口を挟む、話を取ってしまう、ミラー効果（相手の言葉や仕草の繰り返し）を使うなど。良いコミュニケーション、悪いコミュニケーションを話し手、聞き手の役になりきって行い、相手に伝わらないもどかしさと、分かってもらえる喜びを実感することができました。

最後の音声学はいかに美しく正しく相手に伝えるか、母音の無声化や鼻濁音についてのお話がありました。一人一人の発音を訂正し、正しい話し方を丁寧に指導してくださいました。「鼻濁音を正しく使うと言葉が美しくなります。」その言葉に、全員「んだんダ」の練習に熱が入りました。

2時間があっという間の充実した「必ず役立つ実践コミュニケーション」講座でした。

（杜 美智）



# 2009年度 JTMの活動

## ◆ 2009年度総会



4月25日  
トピア

年間重点活動に「外国にルーツを持つ子どもたちの日本語支援と就労につながる日本語支援の充実」を掲げました。

## ◆ 日本語指導勉強会



毎月第2土曜日、トピアにて、「こんにちは とくしま」を使って、模擬授業を行っています。

## ◆ 第1回定例会 「外国にルーツを持つ 子どもたちの未来への責任」



7月4日  
トピア

行政、学校教育・日本語教育関係者、国際交流団体、保護者等43名が参加し、子どもたちのよりよい支援について研修しました。

## ◆ 教師グループ研修会



毎月第4金曜日  
文法など理論をもとに教授法を考えています。

## ◆ 日本語サロン



毎週月曜日午前10時半より、トピアにて日本語サロンを開いています。日本語を話したい外国の方ならどなたでも気軽にお話しできる場所です。ご参加をお待ちしています。

## ◆ 外国人技術研修生 日本語指導

9月30日  
～  
10月26日



テキスト「こんにちは とくしま」を使って日本語指導をしています。



# この一年

## ◆にほんご寺子屋



毎月第4日曜日午後1時半より3時まで、トピアで外国にルーツを持つ子ども達と遊んだり日本語を学んだりしています。これは、2月に「ひなまつり」をしたときの写真です。みんな元気いっぱいです。

## ◆就職のための日本語講座



8月17日  
～  
10月15日

15名が受講し、中級レベルの日本語と仕事のマナーを学習しました。写真は修了式後の謝恩会の様子です。お国の自慢料理がテーブルいっぱい並びました。

## ◆介護の日本語講座



8名が受講し、4名がホームヘルパー2級の資格を取得しました。

11月16日  
～  
2010年  
3月12日

## ◆プライベートレッスン

日本語の勉強はおもしろいです。早くべらべらになりたいです。



男性 ステファン・バンデワット

女性 カリナ・バンデワット

二人はご夫婦です。2009年4月に南アフリカから来日しました。ご主人は牧師さんで、奥さんは専業主婦です。お二人ともとても熱心で上達も早いです。「みんなの日本語」を使って学習しています。

## ◆機関紙「あわゆずぶれす」

第19号  
第20号



徳島市民民力開発センター「広報コンテスト」で最優秀賞に続く「審査委員賞」を受賞しました。

## ◆スマイル通信



毎月1回 JTMの活動など、いろいろな情報を発信しています。ホームページやブログでも活動紹介をしています。

## ◆他にもこんな活動をしています◆

「徳島県国際交流協会日本語教室」日曜日担当  
徳島県主催「美馬市日本語教室」担当 毎週日曜日  
徳島県委託「サマースクール」開催（7月23日～31日）  
徳島県英語指導助手の日本語研修担当（8月15日）

# INFORMATION

## 活動紹介

ブラッシュアップのために

- ◇日本語指導勉強会 毎月第2土曜日  
〈模擬授業と意見交換〉  
日本語に関心のある方ならどなたでも参加  
できます。
- ◇教師グループ研修会  
毎月第3金曜日または土曜日
- ◇定例会
- ◇特別研修会

日本語学習をサポートする交流活動

- ◇日本語サロン  
\*毎週月曜日10:30~12:00  
徳島県国際交流プラザ

外国にルーツを持つ子どもたちの「にほんご寺子屋」

- \*毎月第4日曜日13:30~15:00  
徳島県国際交流プラザ

就職のための日本語講座

- \*5月17日(月)~7月9日(金)

介護のための日本語講座

- \*9月2日(木)~11月2日(火)  
ヒューマンわーくびあ徳島  
主催 (社)徳島県労働者福祉協議会

## 日本語レッスン

- ◇プライベートレッスン・グループレッスン  
初級会話から日本語能力試験対策レッスンな  
どニーズにあった学習プランで教えます。
- ◇外国人研修生の日本語集合研修
- ◇詳しくは事務局またはレッスン専用メール  
jmtoku-lesson@mbk.nifty.com まで。

◆会員数(2009年度) 正会員42名 協力会員3名 協力団体2

◆入会随時受付中!

正会員…会の活動に参加し、ともに運営を行います。  
協力会員・団体…会の活動を支援する個人または団体

## JTMとくしまのオリジナル教材紹介

Konnichiwa Tokushima

# こんにちは とくしま

徳島で日本語を学ぶ人のために

本書は初級学  
習者向けの教  
材です。

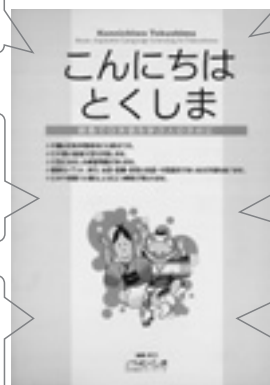
日本語の基  
礎文型を学  
習します。

文型に対応し  
た練習問題が  
あります。

イラストがたく  
さんあり、わか  
りやすいです。

日本や徳島の暮  
らしに役立つ情  
報が得られます。

会話と語彙、表現の英  
語・中国語訳があり、  
自習学習を助けます。



●ご購入、お問い合わせは…

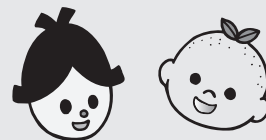
JTMとくしま事務局 または

✿ 紀伊国屋(そごう徳島店8F)

✿ 宮協書店(クレメントプラザ4F)

## ブログ開設中

JTMのホームページにブログを開設しています。  
<http://homepage2.nifty.com/jtmtoku/>



## あ と が き

寒暖の差が激しい日が続いていますが、木々の若緑  
は日増しに美しくなってきました。

「あわゆずぶれす」ができました。お読みになって、  
ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

(山満十糸子)

発行 行/JTMとくしま日本語ネットワーク

発行責任者/兼松 文子

編集責任者/山満十糸子

編集スタッフ/加村 匡子・村松 幸子・安山 政子・長町 順子

玉置 房・森 清・竹治 博

印刷/徳島県教育印刷(株)

■JTMとくしま日本語ネットワーク

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

わーくびあ徳島2階 (社)徳島県労働者福祉協議会内

TEL 088-625-8387 FAX 625-5113

E-mail jtmtoku@nifty.com

URL <http://homepage2.nifty.com/jtmtoku/>